



阿武隈川は洋々と

宮城県伊具高等学校
〒981-2153 伊具郡丸森町雁歌51
電話 0224-72-2020 FAX 0224-72-1322
ホームページアドレス <http://figu.myswan.ed.jp/>

2年次 関西修学旅行 ～充実した内容！！～

11月25日（月）～11月28日（木）の3泊4日で、関西方面へ修学旅行を実施しました。関西の地理や歴史、文化に触れ見聞を広めることと集団生活・団体行動を通し、自主性や協調性、計画性・実行力を身につけることを目的としました。第1日目は7時50分の飛行機で仙台空港から伊丹空港に向かい、奈良公園を散策し薬師寺、北野天満宮を見学して旅館に入りました。第2日目は大阪・京都市内班別研修でした。各班ともに充実した研修を行い、全員が無事帰館できました。グループ毎に予定した行動ができる生徒達です。大阪難波では先生方と街中でバッタリ出会う場面もありました。第3日目は午前中、伏見稲荷大社見学や嵐山を散策するクラスもありました。午後には「カップヌードルミュージアム」にてラーメン作り体験、「ダスキンミュージアム」にてドーナツ作り体験、「GERA（観劇）」にて一緒にパフォーマンスを行い感激した生徒達も多かったようです。夕方には通天閣、天保山の見学で1日を終わりました。最終日にはUSJにて映画の一部を実際に体験するなど楽しい時間を過ごすことができました。夕方6時過ぎには仙台空港に到着し、バスで角田方面と丸森方面に分かれて帰宅しました。家庭に戻って保護者の皆さんと旅行の思い出話に盛り上がったのではないのでしょうか。

盛りだくさんの内容でしたので、非常に有意義な研修になりました。関西の文化に触れ、見学だけでなく体験活動もあり様々な思い出が出来ました。宿泊先の旅館やホテルの皆様にはとても良くしていただきありがとうございました。



宮城県高等学校家庭クラブ研究発表大会に参加

10月30日に名取高校で宮城県高等学校家庭クラブの研究発表大会が開催されました。本校の家庭クラブも参加し、工夫を凝らした作品の発表をしました。参加生徒から報告をいただきました。

「初めて家庭クラブ研究発表大会に参加して、スライドを上手く、タイミングよくできるかとても不安でしたが、意外と上手くできました。皆さんも頑張っていたと思います。（星 夏未さん）」、「私は実演係で系列で作った『柔らかいッス』を紹介しました。貴重な体験になりました。（齋藤 優花さん）」、「どの高校も分かりやすく内容をまとめているとても良かったと思います。（初田 未来さん）」



伊具高まちづくりゼミ～町を花で元気に！～

10月21日(月) 齋理ふれあいパークにまちづくりゼミ生がボランティアで花壇の植栽活動を行いました。町の人たちやボランティアや観光で町を訪れる方々に楽しんでもらおうと100株の葉ボタンとビオラを一つ一つ心を込めて植えました。参加生徒の感想です。「今回台風19号にも耐え残った葉ボタンを丁寧に植栽することができました。少しでも丸森町がこの花で明るくなれば良いと思いました。台風に負けなかった花のように私たちが負けないように頑張りたいと感じました。これからもこのような活動に積極的に参加し丸森町をもっと良くしていくことができれば良いなと考えています。(黒田 楽人さん)」、「植栽活動を行って、少しでも丸森町が明るくなれば良いなと思いました。今後もこういったボランティア活動に積極的に取り組んでいきたいです。(古川 恵瑚さん)」、「丸森町が元気になるように！という想いを込めて葉ボタンとビオラを植えました。(井上 美咲さん)」



みやぎ産業教育フェア「さんフェア宮城2019」参加

11月10日(日) 県庁内外を会場に今年度の宮城県内高校の産業教育フェアが開催されました。電気機械部の電気自動車の説明や試乗体験を県庁正面玄関で行いました。情報系列は勾当台公園にて、「丸森町頑張ってます」の表示を掲げて、カボチャのシフォンケーキ(ねころんさん)、だて正夢(伊具高校農学系列)、いざ初陣(GM7)、梅干し(志白屋)等を販売し、完売しました。また、県庁2階では小学生向けのキッズビジネスタウン内で射的のブースを設けて取り組みました。福祉系列では、パネル展示による発表を行いました。当日は、3万5千人の来場者があり、大盛況でした。



情報系列 丸森町に寄付金

11月18日(月)に役場を訪れ、情報系列で取り組んださんフェアでの募金と売上金を町に寄付しました。直井瑞季さん、釧明あすかさん、星大樹君が保科町長をと面会し、直井さんから趣旨を説明してお金を手渡しました。保科町長からは寄付金に感謝し町のために使わせていただきますとのお話をいただきました。

さんフェアの様子なども説明し、募金や商品を購入していただいたお客様の中には丸森町と縁のある方々もいて、「復興に役立てて欲しい」とお釣りを募金して下さった方もいたこと等を報告しました。



新しくなった令和も年末に近づいていますが、皆様には今年も本校の教育活動に御理解と御協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。台風19号被災では地域はもとより関係機関並びに県内外の高校から温かい御支援を頂戴しまして誠にありがとうございます。本校は令和2年創立100周年を迎え、更なる「魅力化」に取り組んで参ります。

皆様には令和2年が明るく健やかな年になりますことを御祈念申し上げます。

校長 高橋 光弘